

(1) 平成24年2月16日

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181

平成24年2月16日
第45号

京都日蓮聖人門下連合会の歴史を紐解く



京都日蓮聖人門下連合会 理事長 藤井照源

◆立教開宗に始まる
京都日蓮聖人門下連合会の歴史を紐解く時、出発点は日蓮聖人の比叡山横川定光院を主たる道場として勉強された近畿御遊

学十二年と考える。「釈尊出世の本概」は何かを探求すべく、八宗兼学され、法華経こそが真実の教えである事を悟られ立教開宗へと繋がっていく。

◆京都弘通
日蓮聖人は法華経こそが、「釈尊出世の本懐」と悟られ「一天四海皆歸妙法」を目標に法華経弘通に向けて歩まれた。しかし、近畿遊学で得られた法華経を帝都弘通で伝えたいとの思いは、かなり深いものと思われ、自分の力でその願望を叶えることが出来ず、その思いを弟子経一丸(後の日像上人)に託されたのである。

◆京都の歴史と土壌
今を去る七百十七年前の永仁二年(一二九四)に上洛され、同五年(一二九七)四月二十八



御会式

日、京都御所の東門に立ち昇り来る旭日に向かい「南無妙法蓮華経」と声高らかに唱えた日像上人、これが京都開教の第一歩である。京都宗門の歴史的开始は、日蓮聖人が経一丸(日像上人)に託した京都弘教である。以後法華弘通の実を挙げ続々と日蓮聖人門下の僧侶が上洛、目覚しい町衆の支持と外護を受け、公家堂上家にも信者は増え多くの法華寺院を建立、「洛中二十一ヶ本山」と称され全盛を極めた。

その後、天文法難で堺へ避難するも後奨に力を注ぎ、十六本山中の時代へ入っていく。大正十三年(一九二四)四月十九日、十六本山の協力で、比叡山横川定光院に聖人の銅像が建立され、開眼法要が行われた。同年京都十六本山会は「京都立正会」を結成、教学の研修と布教に尽力。また毎年十月十三日御大会式正当には「連合御大会式万灯提灯行列」が行われ、市中で高らかに唱題し大行進。戦争で宗教活動が難しくなるが、門連有志が「立正安国」の

◆京門連との団結
釈尊御降誕花まつりが日蓮宗・法華宗派合同で営まれ、昭和三十二年(一九五七)十月九日聖祖門下連合会として復活第一回日蓮大聖人お会式万灯行列が盛況裏に奉行。円山公園音楽堂から大本山本能寺迄大行進した。聖祖門下連合会も盛大に運営されるが、各宗・各派・各教団の教学、組織等の問題をうけて、協議を重ね、同三十八年(一九六三)「聖祖門下連合会規約」を成文化した。

◆これからの門連
京都日蓮聖人門下連合会は大きな歴史と土壌の中で築き上げて来た。京都には、京都日蓮聖人門下青年会の組織があり青年僧との交流、勉強も盛んである。全国都道府県には、多くの門下寺院が存在している。今こそ地方から門下の心を弘め、門連活動の組織化を進めていく事が必要である。その目標達成が「一天四海皆歸妙法」の祖師の願業に繋がっていく。一步一步の積み重ねを希うものである。



立教開宗会



市中行脚

精神を護り、復興、再興して新しい出発へ向かうのである。

◆これからの門連
京都日蓮聖人門下連合会は大きな歴史と土壌の中で築き上げて来た。京都には、京都日蓮聖人門下青年会の組織があり青年僧との交流、勉強も盛んである。全国都道府県には、多くの門下寺院が存在している。今こそ地方から門下の心を弘め、門連活動の組織化を進めていく事が必要である。その目標達成が「一天四海皆歸妙法」の祖師の願業に繋がっていく。一步一步の積み重ねを希うものである。

◆これからの門連
京都日蓮聖人門下連合会は大きな歴史と土壌の中で築き上げて来た。京都には、京都日蓮聖人門下青年会の組織があり青年僧との交流、勉強も盛んである。全国都道府県には、多くの門下寺院が存在している。今こそ地方から門下の心を弘め、門連活動の組織化を進めていく事が必要である。その目標達成が「一天四海皆歸妙法」の祖師の願業に繋がっていく。一步一步の積み重ねを希うものである。

◆これからの門連
京都日蓮聖人門下連合会は大きな歴史と土壌の中で築き上げて来た。京都には、京都日蓮聖人門下青年会の組織があり青年僧との交流、勉強も盛んである。全国都道府県には、多くの門下寺院が存在している。今こそ地方から門下の心を弘め、門連活動の組織化を進めていく事が必要である。その目標達成が「一天四海皆歸妙法」の祖師の願業に繋がっていく。一步一步の積み重ねを希うものである。

◆これからの門連
京都日蓮聖人門下連合会は大きな歴史と土壌の中で築き上げて来た。京都には、京都日蓮聖人門下青年会の組織があり青年僧との交流、勉強も盛んである。全国都道府県には、多くの門下寺院が存在している。今こそ地方から門下の心を弘め、門連活動の組織化を進めていく事が必要である。その目標達成が「一天四海皆歸妙法」の祖師の願業に繋がっていく。一步一步の積み重ねを希うものである。

從地ゆじゅつ

◆年が明けたということ、あの想像を絶する大災害「東日本大震災」から、早一年が経とうとしているということでもある。

◆第二次大戦以来の甚大な被害とも言われる災害で、一度に大変多くの人命が失われるのを目にし、まず浮かんだのが、大聖人の「人の寿命は無常なり。出る気は入る気待つ事なし。風の前の露尚譬にあらず。賢きもかなきも、老いたるも、若きも定め無き習ひなり」という「妙法尼御前御返事」の一節であった。

◆しかしその一方で、被災地住民の方々同士、お互いに助け合いながら復興に力を注いでいる様子や、日本国内は勿論全世界から多数寄せられる復興支援に、何ら絶望するようなことではないとも教えられた。

◆メディアに取り上げられることは無いが、門連所属教団をはじめ、大変多くの宗教団体が復興支援を行っている。復興への道のりは遠い。地道に、絶えることなく続けていくことが何よりも大切であると思う。

◆臨終についての聖訓である『妙法尼御前御返事』には、「法華経の名号を持有人は、一生乃至過去遠々劫の黒業の漆塗じて白業の大善となる。況や無始の善根皆変じて金色と成り候なり。しかれば故聖霊最後臨終に南無妙法蓮華経と唱へさせ給ひしかば、一生乃至無始の悪業変じて仏の種と成り給ふ。煩惱即菩提、生死即涅槃、即身成仏と申す法門なり」と記されている。

◆将来復興が一段落したとき、生き残った人々は、残りの人生に対する不安や、死の恐怖に苛まれるのではないだろうか。そんな彼らを救わなければならないのは、大聖人の教えを信じる私達である。

(真)

《各派のページ》第二回「法華宗（本門流）宗門内外で活躍する僧侶」



大平宏龍さん

興隆学林専門学校学林長
法華宗教学研究所有長
香川県・國祐寺住職

（プロフィール）

おひら こうりょう 昭和十八年（一九四三）、香川県生まれ、早稲田大学第一文学部哲学科東洋哲学専修卒。同大学院文学研究科修士課程修了。法華宗興隆学林研究科卒。現在、興隆学林専門学校学林長。法華宗教学研究所有長。香川県・國祐寺住職。

日蓮教学に精通し、宗派を越えて広く活躍されている。著書に『日蓮聖人を読む』『法華経の略要品』『法華宗の教えを語る』（以上、東方出版）最新著に『心が温かくなる日蓮の言葉』（PHP新書）等がある。

「宗学」のハイライト

本欄の原稿を依頼されて引き受けてしまったものの、参考にと示された前号の記事をみて反省しきりである。私などよりこの紙面にふさわしい人が、私達の宗門にも多かつたのだ。

もし私が一般の僧侶方と少し異なる点があるとすれば、寺の住職でありながら、宗門の子弟養成機関である興隆学林（私の関わった当初は法華宗興隆学林、現在は興隆学林専門学校）の教師として宗学を教えたことであろうか。それは必ずしも外に對しての面が皆無ではなかったが、むしろ宗内に向かっての面が大きかったと言わざるを得ない。本欄には私は不適格かと考える理由である。しかし、どうも宗教でも固有の教えはあるであろう。まして仏教の伝統宗派には宗学があり、それぞれ「宗学」することが求められていることには変わりはないと思われる。ただ現実には「宗学」の旗色が悪い。一般的仏教学から宗学は「宗派の学」であって学問でないように言われる向きがある。宗内にあっても、教学上の問題が起ったような時以外は敬遠される。私の宗学の恩師株橋日浦先生も「宗学をやっても金にならない、社会的名声を得られるわけでもない、物好きか変わり者で、人づきあいも悪いと言われるのがオチだ」とおっしゃった。「それでも誰かがやらねばならない。」それが御自身の決意であり、教え子に對する訓戒であったのだ。

私は身辺の事情で学術研究は僅かな分野に限定せざるを得なかった。悩みは「宗学」をどう考えた

らよいのだろうということであった。これについて私なりの考えを持つことができるようになったのは、慶林坊日隆上人（一三八五〜一四六四）の著述に向かうようになってからである。

仏教各宗は各自の教学に基づくそれぞれの生き方を提示すべきであり、そのどれが地球人としてのこれからのふさわしいか、その意味での現代の宗論をすべきではないかと私は曾てある新聞に書いたこともある。



福島泰樹さん

法昌寺住職
立正大学客員教授

（プロフィール）

ふくしま やすき 昭和十八年（一九四三）、東京下谷法昌寺住職。歌人、絶叫ミュージシャン、立正大学客員教授。早稲田大学文学部卒、法華宗興隆学林研究科卒。「短歌絶叫コンサート」を創出、千三百ステージをこなす。毎月十日、東京吉祥寺「曼荼羅」で月例絶叫コンサート開催して二十七年。「日蓮紀行」を「大法輪」に連載中。近著に『わが心の日蓮』（春秋社）。

立松和平の墓

初めて会ったのは、一九七〇年三月、君は、日雇労働をしながら小説を書く貧乏学生だった。私は、修行を終えたばかりの坊主の卵で、大塚にあった宗務院の書記をしていた。酒場の樽に腰かけて君は、放浪体験を語り、全共闘を語った。やがて私は愛鷹山麓の小村柳沢の妙蓮寺に入る。初めての訪問者は君だった。寒行中の私と共に君は、題目を唱え団扇太鼓を叩き、

村を回った。傾きかけた本堂で君は、村のお婆さんたちと初めて法華経を誦した。

再起を期しての上京。報道番組「心と感動の旅」で君は一躍、国民的人気を獲得する。語り口から滲みでる木訥な人柄が、人々の心をとらえたのだ。環境問題にも積極的に取り組んだ。

地方を襲った大地震、大津波、原発事故を作家として体験せずに旅立っていつてしまったことである。行動する作家立松和平は、率先して足尾の植林運動などを手がけていたからだ。例えば、栃木県足尾は、作家の先祖の土地であり、足尾鉍毒事件に憤然と立ち向かった田中正造は、作家のライフワークであった。この地上の命あるものすべてを死地に追いやる福島第一原発事故は、足尾鉍毒事件に次ぐ国家的犯罪である。

人々が足早に立ち去った連合赤軍粛清事件を、正面に見据えて書き始めたのである。しかし雑誌連

載『光の雨』は、盗用問題を生み、メディアを沸かせた人気作家は、世間の苛烈な指弾に曝されることとなる。「謝るな立松！」と私は叫んだ。当事者による総括の書は、すでに歴史的資料で、断じて盗用などではない。

作家は、真摯に苦悩した。苦悩は光明をもたらせた。仏陀との出会いは。君の歩みは、「求道」へと向かってゆく。聖徳太子、木食五行、大作『道元』。良寛、鳩摩羅什、そして日蓮へと君は、書き進めてゆくはずであった。そして刮目すべきは、苦難の歳月を経て君は、君の作家生命を危うくしたあの「光の雨」を美事に書き上げたことである。

毎月三日は、君が講元をつとめる下谷法昌寺の毘沙門講である。境内に建つ「たご地蔵（たご八郎）」に酒を浴びせ、私たちは新春の盃を掲げた。

時我及衆僧
俱出靈鷲山

団参のご用命は
大陸旅遊

インド・ネパールはもちろん中国シルクロード・スリランカ・ミャンマー・ラオス・ベトナム・ブータン・アンコール遺跡等へのご旅行手配もおまかせ下さい。

観光庁長官登録旅行業第1399号/日本旅行業協会正会員
株式会社 大陸旅遊
Tairiku Tours & Leisure Co., Ltd. TEL 03-3376-2511 FAX 03-3376-5280 http://www.tairikuryoyu.co.jp mail: tlc@tairikuryoyu.co.jp
●東京本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿5-5-6 第2ダイヤモンドビル2階

東日本大震災からの
一日も早い復興を
心から祈念申しあげます

(平成二十四年二月現在)

日蓮宗宗務院

宗務総長	渡邊照敏	財務部長	川口智康
伝道局長	齊藤憲一	宗務総長室長	渡邊義生
総務局長	塩崎望巳	現代宗教研究所長	三原正資
伝道部長	中井本秀	参	与 渡邊一之
教務部長	川口久雄	参	与 吉田海心
総務部長	池田弁岳	日蓮宗新聞社社長	村上俊正

〒146-8544 東京都大田区池上一-1321-15
電話 〇三(三七五二)七一一五
FAX 〇三(三七五二)七一一八

法華宗(本門流)宗務院

管 長	菅原日桑
宗務総長	二瓶海照
庶務部長	佐藤義賢
財務部長	久永晃顕
布教部長	斎藤舜貽
教学部長	金井孝顕
	松本義仙

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-19-1
電話 〇三(五六一四)三〇五五(代)
FAX 〇三(五六一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

管 長	中村日玄
宗務総長	藤崎広学
宗務次長	朝倉俊幸
財務部長	藤崎行学
教務部長	早川義正
布教部長	吉永義康
庶務部長	阿曾久成
社会部長	飯澤道安

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九-1
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長	石丸日然
宗務総長	佐古弘文
総務部長	門谷光瑞
教学部長	布施義高
教化部長	佐古大弦
財務部長	金原孝宜
企画部長	今井満良

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-135-16
電話 〇三(三九一八)七二九〇
FAX 〇三(三五七六)〇二二一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長	佐藤日凰
宗務副総長	梅田日芳
宗務副総長	伊藤隆之
教務局長	亀井日魁
弘通局長	長谷川日堯
総務局長	岡本日盈
出版局長	藤本日涌
財務局長	西村日勲

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上東盛町二-〇番地
電話 〇七五(四六一)一一六六(代)
FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長	嘉儀日有
宗務総長	岩崎広義
宗務部長	岩崎広義
財務部長	原田智光
教務部長	原光

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上七法皇町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長	田中日生
宗務総長	寺田完英
総務部長	堀田智泰
教学部長	堀内浩善
教化部長	木村完祥
財務部長	安立修学
社会部長	上田泰源

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上丸紋屋町三〇
電話 〇七五(四四一)五七六二
FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長	松下日肆
宗務総長	松井日靖
宗務部長	藤田隆雄
総務部長	増田日雄
宗務部長	吉村日彦
財務部長	土畑信教
教務部長	山田岳隆
庶務部長	高邊晶啓

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙蓮寺内
電話 〇七五(四五二)三三二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽主	田中壮谷
理事長	田中勇一郎
門連常任理事	本間直暉
門連理事	藤本坦孝
門連理事	原田義彦
編集委員	森山真治
編集委員	的場春奈

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一-19-18
電話 〇三(三五六〇)七二二(代)
FAX 〇三(三五六〇)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

会 長	中村日玄
副会長	伊丹日章
理事長	古瀬久馨
副理事長	藤井照源

京門連事務局
〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九-1 妙満寺内
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

日本山妙法寺大僧伽

首 座	吉田行典
責任役員	酒井天信
同	今井行康
同	池田行朗
同	二宮和嘉
同	木津博充
同	川岸行孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八-17
電話 〇三(三四六一)九三六三
FAX 〇三(三四六一)九三六七

日蓮宗総本山 **身延山久遠寺**

法主 内野 日総
 総務 井上 瑞雄

〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延
 電話 〇五五六(六二)一〇一一
 FAX 〇五五六(六二)一〇九四

法華宗(陣門流)総本山 **本成寺**

貫首 石丸 正然
 執事 鈴木 顯
 執事 栗原 孝之
 執事 荒川 公孝
 執事 近藤 正義
 執事 五十嵐 昭

〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇
 電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
 FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

本門佛立宗本山 **宥清寺**

住職 小山 日誠
 執事 中西 清乘
 事務局長 伊藤 隆之

〒602 8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ノ鼻町一〇五―一
 電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
 FAX 〇七五(四六三)四六五一

日蓮宗靈跡本山 比企谷 **妙本寺**

貫首 早水 日秀
 執事 立野 正泰
 山務役職員一同

〒248 0007 鎌倉市大町一―一―五―一
 電話 〇四六七(二二)〇七七七
 FAX 〇四六七(二五)六九六七

日蓮宗本山 **頂妙寺**

貫首 安藤 日瑛
 参事 伊東 隆司
 同 宇根 海静
 同 新林 昭源
 執事 藤井 照孝
 執事 川合 陽雄

〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六
 電話 〇七五(七七二)〇五六二
 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四

日蓮宗大本山 **池上本門寺**

貫首 酒井 日慈
 執事 野坂 法雄
 役員一同

〒146 8576 東京都大田区池上一―一―一―一
 電話 〇三(三七五)一三三三
 FAX 〇三(三七五)三三五〇

法華宗(真門流)総本山 **本隆寺**

貫主 田中 日生
 執事 足立 真正
 執事 本多 信正
 書記 永岡 悠希
 書記 笹木 研吾

〒602 8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル 紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

京都八本山会

本山 本満寺 貫首 伊丹 日章
 大本山 本園寺 貫首 吉田 日厚
 大本山 妙頭寺 貫首 和田 日佑
 本山 立本寺 貫首 上田 日瑞
 本山 妙傳寺 貫首 野々垣 日祐
 本山 頂妙寺 貫首 安藤 日瑛
 本山 妙覺寺 貫首 及川 日周
 本山 本法寺 貫首 瀬川 日照

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 **富士山法華本門寺根源**

貫首 旭 日重
 執事 川名 義顕
 参事 吉田 日綱
 参事 井野上 正文

〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五
 電話 〇五四四(五八)一〇〇四
 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 **藻原寺**

貫首 持田 日勇
 総務 増田 寶泉
 執事 富永 一道
 " 中川 貫泰

〒297 0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一
 電話 〇四五(二二)三二五三
 FAX 〇四五(二二)一一七三

法華宗(本門流)大本山 **光長寺**

貫首 石田 日信
 執事 久保 木学洋
 役員一同

〒410 0011 静岡県沼津市岡宮一〇五五
 電話 〇五五(九二二)〇四八四
 FAX 〇五五(九二二)〇七三六

本門法華宗大本山 **妙蓮寺**

貫首 松下 日肆
 執事 音羽 隆全
 役員一同

〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

日蓮宗大本山 **清澄寺**

出家開度の霊跡
 別当 二宮 將泰
 執事 宮崎 雅宣
 役員一同

〒299 5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一
 電話 〇四(七〇九四)〇五二五
 FAX 〇四(七〇九四)〇五二七
 団参には是非、研修会館をご利用ください。
 一六〇名様まで可。

日蓮宗大本山 **中山法華経寺**

貫首 新井 日湛
 参事 田代 浩敬
 同 渡辺 行俊
 同 植田 観樹
 同 吉田 文堯
 同 布施 慈範

〒272 0813 千葉県市川市中山二―一―〇―一
 電話 〇四七(三三四)三四三三
 FAX 〇四七(三三四)一七九六

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安 **瑞輪寺**

貫首 井上 日修

〒110 0001 東京都台東区谷中四―二―一五
 電話 〇三(三八二)四三七三
 FAX 〇三(三八二)七〇三三

顕本法華宗総本山 **妙満寺**

貫首 中村 日玄
 執事 古瀬 久馨
 執事 山本 晃道
 執事 中村 英司
 執事 湯原 正純
 執事 小川 正義

〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七二七一
 FAX 〇七五(七九二)七二七六

多寶富士山 日蓮宗 **本山要法寺**

貫首 嘉儀 日有
 大学頭 丹治 日遠
 執事 岩崎 広義
 執事 原田 智光
 執事 原 光明

〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 **誕生寺**

宗祖御降誕八百年に向かつての祈り

貫首 石川 日命
 執事 村田 教清

〒299 5501 千葉県鴨川市小湊一八三
 電話 〇四(七〇九五)二六二一
 FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

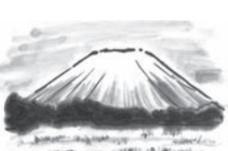
やくよけ祖師 日蓮宗本山 **堀之内妙法寺**

貫首 嶋田 日新

〒166 0013 東京都杉並区堀之内三―四八―一八
 電話 〇三(三三三)六二四一
 FAX 〇三(三三三)五〇〇七

平成三十三年二月十六日は 宗祖御降誕八百年を 迎えます

平成二十四年一月現在



京都理事会開催さる



日蓮聖人門下連合会 京都理事会 平成23年11月25日 於、本山 妙傳寺

「明治の日」署名活動のお願い

合掌 各聖におかれましては、時下益々御清祥にて、為法御精進の事と大慶に存じます。日蓮聖人門下連合会におきましては、一方ならぬ御芳情にあらずかり、深くお礼申し上げます。さて、先日の門連京都理事会の席で申上げましたが、このたび小生は「明治の日推進協議会」に参加する事と相成りました。昭和二年三月三日に、明治節（十一月三日）が制定されました。この「明治節」制定運動は、国柱会創始者田中智学師が運動を起こされ、その請願運動が日本全国に広がり無事成満されたという経緯がございます。智学師は、明治天皇を「国ばかりではない、世界全体の時局の進運といふものに対抗して、よく其

の取るべきを取り、捨つべきを捨てて、世の中の進歩に遅れないようにといふ其の洗煉の発揚された、是が実に尊い所である。明治天皇は国体の権化として、古往今来かつて類例を絶したる偉大な聖人であります」と称え、「明治節」を制定し、明治天皇の御聖徳を全国民が仰ぐことによつて、国民精神の啓発と、民心の向上を図る標的とされました。しかし敗戦に伴い、十一月三日の祝日は、残念な事に「文化の日」という名称に変更され今日に至っております。このような折り、昨年十一月三日に「明治の日を実現しよう！ 国民集会」が有志により挙行され、「明治の日推進協議会」が塚本三郎元民社党委員長

京都理事会が十一月二十五日、日蓮宗本山京都府妙傳寺（野々垣日祐貫首）で開催され、渡邊照敏理事長をはじめとする役員、門下本山貫主猊下の五十名が出席した。先師法要では、野々垣貫主が導師となり、京都日蓮聖人門下連合会理事長藤井照源師「日蓮宗京都府第一部宗務所長」、副理事長赤田泰宏師「法華宗（本門流）大本山本能寺執事長」が副導師となり厳修参加者一同香を手向けた。法要後、本山妙傳寺の沿革を執事長谷口真也師が自身の

を会長として結成されました。当日掲げられた今後の活動目標を左に記させていただきます。

- ・ 一千万署名運動の推進
- ・ 国会議員への働きかけ
- ・ 地方における活動組織化
- ・ 日刊紙への意見広告掲出
- ・ などでございます。

小生は、この運動の一請願者として運動を展開する決意を致しました。

つきましては、日蓮聖人門下連合会所属の各御宗派におかれましても「明治の日」に改める請願の署名活動に御賛同戴きたく誌面を拝借して御願ひ申し上げます。諸事御多端のこと存じますが、何卒趣意を御理解いただき御協力賜りますよう謹んで重ねて御願ひ申し上げます。

再拜
宗教学法人国柱会
賽主 田中壯谷
（署名用紙は国柱会本部へ）

立正大学での論文を資料とし講話、歴史ある妙傳寺の沿革を紹介した。続き、理事会開催。渡邊理事長が座長となり議事を進行。一、上半期事業報告を事務局より報告。二、京都門下連合会活動報告を理事長藤井照源より報告。三、地方門連の活動報告を理事長中村日遊師より報告。殊に地方門連である大阪門下懇話会は、平成二十四年十二月六日に「結成五十年記念式典」を開催することが報告され、門連各派団体の参加が要望された。

その他の事項では、日蓮宗本山千葉鏡忍寺原日透貫主より、平成二十五年に「宗祖日蓮大聖人小松原法難七五〇年」御正當を迎えるにあたり、門連各派団体への参詣を要望された。また、日蓮宗本山千葉奥藻原寺持田日勇貫主より、オラトリオ日蓮についての現況報告がなされ、終了後には復刻版を門下連合会に寄贈し、広く門下にて活用してほしいとの要望がなされた。終了後、全日空ホテルへ場所を移し、相互の懇親を深めた。

京都日蓮聖人門下連合会結成六十周年プロジェクトを設立

京都日蓮聖人門下連合会が結成され平成二十五年に六十周年を迎えることとなり、プロジェクトチームが設立された。結成六十周年記念事業の企画立案に向けて話し合いがなされ、骨子をまとめていくこととなる。

委員は下記のメンバーである。
（藤井照源）

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成二四・一・一	伊丹日章 中村日玄	京都門下連合会	顧問	就任	退任
平成二四・一・一	藤井照源 古瀬久馨	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成二四・一・一	赤田泰宏 藤井照源	京都門下連合会	理事	就任	退任

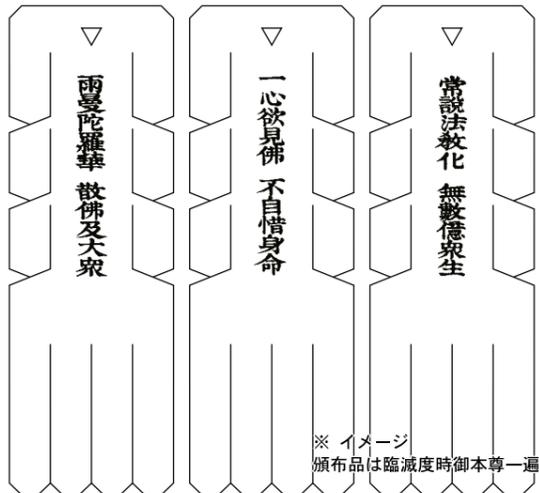
施餓鬼小旗セット

頒布価格 **7,875 円**
(税込・送料別)

施餓鬼小旗 (約縦 202 mm × 横 67 mm)
 経文入各色 (緑・白・赤・青・黄) × 20 枚、
 臨滅度時御本尊一遍首題入 (白のみ) × 10 枚、
 経文無各色 × 20 枚 (白のみ 10 枚)
 合計 200 枚・箱入
 竹串 (約 24 cm) 100 本



※本体箱



※イメージ
頒布品は臨滅度時御本尊一遍首題です

お申し込みは **日蓮宗新聞社** TEL 03-3755-5271
 〒146-0082 東京都大田区池上 7-23-3 FAX 03-3753-7028

